

コロナ 第8波

34回目

緊急要請

年末年始、さらなる感染急拡大が懸念されます。日本共産党千葉県委員会と千葉県議団は12月28日、新型コロナ「第8波」の抑え込みへ、緊急要請を行いました。



左から：白石ちよ花見川区県政対策委員長、加藤英雄県議、みわ由美県議

一日の新規感染 最大時の想定数 3万4千人をいかに減らすのか 県は何をやるか、戦略的方針を示すべき

千葉県は、新型コロナとインフルエンザの同時流行による1日当たりの最大感染者について、コロナ3万4千人、インフルエンザ1万9千人、合わせて5万3千人と想定しています。これをいかに減らすのか、そのために県は何をやるのか、県としての戦略的方針を確立し、県民に示して、理解と協力を得てこそ、感染拡大を抑え込めます。

県へ緊急要請したこと

◆無症状者も含めた幅広い検査体制

- ・感染不安者への無料一般検査などの継続・拡充
- ・クラスターの防止へ、高齢者・障害者施設への検査キット配布（主に職員用）継続と、利用者への対象拡大。保育所・幼稚園、学校などにもひろげる。
- ・家庭内感染抑止へ、希望する家庭に検査キット無料配布をおこなう。

◆医療体制の整備、発熱外来への支援強化

- ・入院患者受け入れ協力金の復活・拡充。確保した病床稼働のため、看護師等の職員確保への支援。
- ・臨時医療施設の速やかな最大稼働および拡充。
- ・発熱外来を増やす支援の拡充、同外来負担軽減のため、県独自の検査センターなど設置。
- ・コロナ患者治療の役割を担う急性期、高度急性期の病床を削減する「地域医療構想」の見直し

◆感染症対策の要となる保健所体制の増強

税金投入ありえない、ネットでも買える、
知事 不安解消の一般検査は廃止の姿勢

今年1月から11月に無症状者約40万人が検査を受け、陽性者は約2万人（陽性率5%）。12月中旬1週間の陽性率は約6%です。仮に、検査をやらなければ、無症状感染の人が気づかないまま、周囲に感染を広げていた可能性は否定できません。ところが県担当者は「感染抑止の効果はない。感染不安の解消は検査ではない。各自が基本的対策（マスク、手洗い、うがい、密を避ける等）で解消」と強弁。不安解消検査の1月13日からの再開について「千葉とく旅キャンペーンで使える。知事が判断したこと」と言い逃れました。この間、知事は「一部の非濃厚接触者・無症状者を頻回でなく検査しても疫学的に意味がない。不安解消に税金投入はありえない施策。ネットでも買える」などとのべ、法的な位置づけを変更し、不安解消の無料一般検査事業は廃止せよ、との立場です。

県生実学校

老朽化改善と職員増員を

県内唯一の児童自立支援施設
千葉県生実学校の著しい老朽化改善や寮での20代女性職員の一人夜勤の解消を求めました。

